

四旬節(レント)第5週 主日礼拝

2018年3月18日

第一礼拝(午前8:00~) 第二礼拝(午前10:30~) 夕拝(午後7:30~)

前奏	(新聖歌41)		
招きのみことば	『ヨハネの黙示録』5章6-8節	司会者	
※開会の賛美	新聖歌20「主の まこと の まこと の まこと はくしきかな」	—	同
※信仰告白	「使徒信条」(新聖歌p.826)	—	同
代表祈禱	司会者	
感謝の賛美	新聖歌369「主よこの身 み 今 また 全くし」	—	同
聖書朗読	『マタイの福音書』26章36-46節(新約56頁)	司会者	
黙想	—	同
説教	「祈りのチカラ」	近伸之牧師	
※応答の賛美	新聖歌396「慕 い まつる主の」	—	同
感謝の献金	(新聖歌58)	—	同
感謝祈禱	小山 千春姉	
諸案内	(来信・集会案内)	司会者	
諸報告	(来会者紹介・報告・暗唱聖句)	近伸之牧師	
※頌栄の賛美	新聖歌61「御 みめぐ みあふるる」	—	同
※派遣の賛美	新聖歌54「主の祈り」	—	同
※祝福の祈り	近伸之牧師	
※後奏	(新聖歌59-7)		

(※印は、からだの不自由な方以外はご起立をお願いします)

第一礼拝	司会説教：近伸之牧師	音響・録音：山崎 敬典兄	C S 担当：佐藤 繁実兄
司集	会：片山 健司兄 会：横堀 信子姉 会：笹川 清子姉	音響・録音：山崎 敬典兄 説教の録画：近伸之牧師	掃除：長谷川睦子姉

説教メモ

1. 「祈ってください」は信者の特権。イエスは弟子たちに祈りの共闘を求めた。地上の祈りは天上で香となる
2. イエスは死は恐れない。だが十字架は死以上のもの。神が人の罪のゆえにのろわれる壮絶さを覚えよ
3. 主は祈りを通して十字架を克服した。信者は祈りの力を学び、体験すべき。イエスの姿を見つめ、祈ろう

先週の暗唱聖句

「これは、わたしの契約の血です。罪を赦すために多くの人のために流されるものです」
(『マタイの福音書』26章28節)

今週の暗唱聖句

「わたしの願うようにではなく、あなたのみこころのように、なさってください」
(『マタイの福音書』26章39節)

(牧師のサイン：)

個人、団体からの来信

2018年3月18日

東京基督教大学より領収書/
オープン・クラウド・フェスティバルの再案内【3月24日(土)開催 申し込みは本日まで】/
新潟ハートケア・コンサート実行委員会より、天上の音楽合唱団募集の案内

先週の集会出席者数

3/11(日)	教会学校	幼児男子1 小学男子- 中学男子- 高校男子- 男児計1 成人男性-	幼児女子2 小学女子1 中学女子- 高校女子- 女児計3 成人女性1
	第一礼拝	男2 女3	※月に一回、実用書道教室を開催
	第二礼拝	男10 女15 計25	3/12(月) 月曜家庭集会 (休会)
	(子ども)	男児2 女児5	3/14(水) 新潟山形療養会 男6 女5
	夕拝	(休会)	3/16(金) しゃべり場タビタ 男- 女4
		3/16(金) 金曜祈禱会	男1 女3

諸集会のご案内

3/19(月)午前9:30	実用書道教室	『マルコの福音書』1章10-15節	書の指導：藤田美保姉
3/19(月)午後8:00	月曜家庭集会	山崎岩雄兄宅	
3/21(水・祝)午後7:30	分かち合い祈禱会	教会堂	司会：笹川 清子姉
3/23(金)午後1:30	しゃべり場タビタ	渡邊智子姉宅	問合せ先：小山 千春姉
3/23(金)午後8:00	金曜祈禱会	教会堂	

3/25(日) 四旬節第6週(受難週)

第一礼拝 午前8:00	司会説教：近伸之牧師	音響：片山 勝三兄 献金：沼田佐代子姉	
教会学校 午前9:00	担当：片山 初子姉		
第二礼拝 午前10:30	司会：山崎 敬典兄 集会：笹川 清子姉 小林 洋子姉	映像・音響：片山 勝三兄 説教の録画：近伸之牧師	感謝祈禱：片山 浩司兄 掃除：横堀 信子姉
礼拝の予定			
午後の予定			
夕拝	※事情により休会		

報告

1. 礼拝の感謝
主日礼拝の恵みを感謝します。この後は昼食をいただき、午後2:00からカナン訪問を行います。

2. 近牧師の予定について
明日19日(月)昼より敬和学園大学にて新卒業生と顔合わせを持ち、その後村上福音キリスト教会へ赴き諸用を務めます。21日(水・祝)から22日(木)までIOSガーデンで開催される教団総会に出席し、22日(金)午後1時より聖籠町町民会館にて敬和学園大学の卒業式に出席します。どうぞお祈りください。

3.

最近、生きることをしんどく感じる人が増えているのではないのでしょうか。年間の自殺者が三万人を超えているという数字も、そんな表れでしょう。こんな現状への対策として、中央労働災害防止協会が数年前に『職場における自殺の予防と対応』という本を作りました。「自殺のマニュアル」という情報がインターネットで流れている時代、必要な対策でしょう。

他方で、「自殺をしないためのマニュアル」のような本も出されています。『命のメッセージ～死から再起した十五人の証言』(一粒社)という本もそんなひとつです。四回も自殺未遂をして、そこからどのようにして再起していったかという、ドラマに勝る体験談もあります。自殺に追い込まれた原因ごとに分類され、それをいかに乗り越えたかが赤裸々に記されています。例えば、「経済苦、生活苦の嵐を経て」、「怨恨を乗り越えさせた愛のエネルギー」、「競争社会の枷から解かれて」、「虚しさという壁の向こうに」というふうです。

この本の冒頭に、「自殺の共通要因は、何らかの理由で『生きる希望の土台を失ったことによる』」とあります。ちなみにその土台とは、心身の健康、夫婦・親子の絆、学歴、事業、財産、終

身雇用制、経済の安定と発展というものだと言います。確かに土台としてきたものが崩れてしまうと、生きる希望、生きる力そのものも揺らいでしまい、時には失われてしまうでしょう。

では、どう対応したら良いのでしょうか。大切なことは、生きる土台、希望の土台を、不安定なもの、揺らいでしまったり失われたりするものから、揺るがない、変わらない、決してなくなるものに替えていく必要があるということではないでしょうか。そんなものがあるのでしょうか。聖書は「ある」と言っています。

「人はみな草のようで、
その栄えは、みな草の花のようだ。
草はしおれ、花は散る。
しかし、主のことは、
とこしえに変わることがない。」
(『ペテロの手紙 第一』1章24、25節)

聖書のことは、神のことは不変です。神が不変、永遠だからです。この神への信仰、神のことはへの信頼を、希望の土台に据えることができるように、キリストが「道・真理・いのち」としてこの世にこられたのです。

見送りの先に立ちけりつくづくし (文草)



ツクシはトクサ科の多年草杉菜の胞子茎。地下茎で栄養茎とつながっている。春先早く顔をのぞかせる。形が筆に似ていることから土筆と書く。古名は「つくづくし」といわれ、古くから食されてきた。通称、袴といわれる部分を取って茹で、酢の物などにする。



毎週土曜日 朝5:15~5:45 BSNテレビにて放送中
☆24時間テレホン『でんわ世の光』025(272)3592



3/24(土)イースター番組「受難と復活」磯川道夫さん

キリストの復活を記念してお祝いする「イースター」番組を2週にわたってお届けします。1週目は、いのちのことは社の磯川道夫さんに一昨年日本で公開され、DVD化されているキリスト教映画『復活』について紹介していただきながら「本当にイエス・キリストは復活したのか?」について考えていきます。

Broadcast for Expanding Gospel into Niigata
BEGin。ここから始まるあなたの伝道。

私たち豊栄キリスト教会は、ライフライン
の協力教会です。

2018年度教会目標 「弟子の覚悟をもって」

「自分の十字架を負ってわたしについて来ない者は、わたしの弟子になることはできません」

(『ルカの福音書』14章27節)

日本同盟基督教団 新潟山形宣教区
豊栄キリスト教会 (牧師 近 伸之)

〒950-3322 新潟県新潟市北区嘉山3-11-15

TEL: 025-387-4934 FAX: 025-250-0155

ホームページ: <http://www.toyosakakyokai.net>

電子メール: info@toyosakakyokai.net

ブログ: <http://www.toyosakakyokai.sblo.jp>

